

ペンマークの由来

2本のペンを斜めに交差させたデザインの慶應義塾の校章。制定の由来については2説あります。その一つは、1885年に正科の塾生たちがデザインしたというもの。当時の義塾には制服がなく、和服を着用する者が多く、服装改革を思い立った有志が揃いの洋服と帽子をあつらえ、帽子にペンの記章をつけました。教科書にあった“The pen is mightier than the sword”（ペンは剣よりも強し）の語句に啓発されたことが由来だと言われています。



慶應連合三田会の設立

義塾の同窓会組織である各種三田会の横断的組織。1930年11月、京浜在住三田会員有力者と各地在住有力三田会会員との交流親睦、義塾との連絡を密にするための連合三田会と称する会合として始まり、義塾の現況や地方三田会の近況などを報告し合い、晩餐会で締めくくられることを例としました。主に三田大講堂や東京会館などを会場としていましたが家族同伴で楽しむ春秋の義塾同窓会とは異なり、三田会幹部のみが参加する会合でした。1963年に独自の事務局を設置、毎年1回全塾員を対象とする大会の開催、各三田会などの代表者による懇談会の開催、機関紙などの発行を行うこととしました。



1932年5月9日、帝国ホテル宴会場において開催された連合三田会。当時の総理事大臣犬養毅ほか約800名が参加

住所変更等の届出

改姓、転居等で氏名や住所あるいは勤務先の変更があった場合は、下のいずれかの方法で塾員センターにお届けくださいますようお願いいたします。

1. メールフォーム [URL http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html](http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html)
2. FAX 03-5427-1546
3. 郵送 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾塾員センター

※1の方法による場合は、メールアドレスも塾員情報として預かりいたします。なお、2・3の方法による場合は、氏名・卒業年、学部、生年月日、自宅住所、自宅電話番号、勤務先を記載のうえ、お届けください。

社中の丘

「卒業生のページ」

Keio University



社中とは、慶應義塾を構成している全ての人を包含する総称です。このページでは特に卒業生の方に向けた情報をお伝えします。

地域三田会活動

2019年10月に開催された北陸三県連合三田会の様子を紹介します。北陸三県連合三田会は石川県、富山県、福井県の3県の三田会の持ち回りにより開催されます。今年は、富山県三田会が幹事役となり開催されました。総会、塾長講演、懇親会と進み和やかな会になり皆さん楽しく過ごされていました。最後は、應援指導部の指揮で「若き血」他の合唱で盛り上がり、活気ある三田会となりました。

地域三田会は、社中が集まって楽しく歓談することを目的として、全国（世界）各地で活動しています。ご参加経験のない方も是非お近くの三田会にお問い合わせください。問い合わせ先がご不明の場合は、塾員センター（infoalumni@info.keio.ac.jp）までご連絡ください。



✂ 三田会活動支援と個人情報保護の両立への取り組み

慶應義塾では、「氏名」「自宅住所」「勤務先」「メールアドレス」を、ご卒業後も塾員情報として、塾員センターのもとで確かにお預かりする仕組みをとっています。この仕組みのもとで、塾員お一人おひとりに、慶應義塾からのお知らせをお届けするとともに、三田会、クラス会などの同窓会活動を支援する取り組みにも活用しています。

同窓会（三田会）活動の支援について、例えば、地域で活動する三田会からその地域在住の塾員の皆さまに懇親会の開催案内を送付したい旨のご相談を受けることがあります。その場合、あくまで

も同窓会活動に限定のうえで、まず所定の書式に塾員であることが確認できた三田会役員の方複数名の署名捺印をいただき、さらに個人情報の管理体制について確認して認めることができた場合に限り、情報提供する方式をとっています。

今後も、同窓会としての三田会活動支援と塾員の皆さまの個人情報保護の両立とのバランスに十分に配慮したうえで、社中の皆さまの繋がりが広がるよう取り組んでいきます。また、三田会を統括している慶應連合三田会とも連携して三田会活動の発展につとめてまいります。

慶應オンラインを利用されている方へ

ご登録されているメールアドレスに慶應義塾からの情報や慶應連合三田会からのご通知なども発信しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

✕ ラウンジのご紹介 しゃちゅうこうかん ばんらいしゃ 社中交歓 萬來舎

三田キャンパス南校舎3階にある「社中交歓 萬來舎」は、塾員の方ならびに教職員が世代・分野を超えて集う交流の場です。落ち着いた雰囲気のラウンジで、飲み物や軽食を提供しており、ケーキセット（税込780円～）などが人気です。お一人でも、歓談や待ち合わせなどにも幅広くご利用いただけます。



個室（有料・要予約）



営業時間

月曜日～土曜日の11時～21時

※三田キャンパス一斉休暇中はご利用いただけません。
詳細については右記連絡先にお問合せください。

お問合せ先

電話：03-3453-5661

URL <http://www2.jukuin.keio.ac.jp/lounge/>

✕ 慶應義塾公式グッズのご紹介

慶應公式グッズ

検索

URL <https://keiogoods.jp/>

慶應義塾では、多数の公式グッズをご用意しています。売り上げの一部は奨学金として塾生に還元されています。お求めやすい価格帯のものから本格派まで、品揃えは多彩です。ここでは、新商品をご紹介します。

撥水風呂敷ながれ（税込5,000円）

義塾の貴重書コレクションから西洋中世の手書き写本の装飾文字や挿絵と、福澤諭吉の書「慶應義塾」をコラボした撥水風呂敷です。



慶應義塾『丘の上』オルゴール

〈名入れなし〉税込10,800円、〈名入れあり〉税込12,000円

箱根ガラスの森美術館製作によるガラス製オルゴールです。蓋には図書館旧館とKeio Universityのロゴがサンドブラスト加工で施され、開くと『丘の上』のメロディーが流れます。ジュエリーボックスとしてもご利用いただけます。



取り扱い・お問合せ先

慶應義塾三田インフォメーションプラザ1階

電話：03-5427-1436

✂ 学事振興のさらなる発展に向けて

慶應義塾は、日本の高等教育の歴史において早くから学事振興に力を入れてきました。中でも「福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金」と「小泉信三記念慶應義塾学事振興基金」は長く義塾の教育研究の発展に寄与してきました。

○福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金

創立100年を迎えた直後の1961年、戦災を受けた施設の復興、充実が義塾にとって喫緊の課題であった中、当時の高村象平塾長は、「学事の振興、学者の育成は義塾百年の計である」ことを優先し、主に寄付金によって研究の振興、研究者の育成を目的として本基金を設置しました。

助成は、国外派遣留学生4名、研究補助4件、出版補助2件で始まりました。事業は塾長及び塾長が委嘱する委員で構成される運営委員会により運営されています。現在の基金残高は、およそ24億円に上り、教職員の国外派遣留学、研究、研究成果の国際発信などの活動に対し、助成が行われています。

○小泉信三記念慶應義塾学事振興基金

1966年に逝去した元慶應義塾長の小泉信三の遺徳と功績を顕彰し、その名を永く後世に伝えることを目的に寄付金によって設置されました。

本基金は、塾長及び塾長委嘱の委員で構成される運営委員会により運営されています。小泉信三が学生の勉学とスポーツを奨励したことに鑑み、学問の奨励、体育活動の奨励、小泉信三賞全国高校生小論文コンテストの運営、外国人学者招聘費補助事業、小泉信三記念講座（公開講座）の開催など多彩な事業を実施しています。現在の基金残高はおよそ20億円になります。

世界の学塾として評価されるためには、将来を担う若手研究者や塾生を育む多様な教育研究プログラムを充実させる必要があることは論を俟ちません。しかし、現状では基盤となる自己資金が不足しているため、短期的・中長期的な双方の視点で基金のさらなる拡充を行う必要があります。この趣旨に広くご賛同いただきまして、塾員の方をはじめ、社中の皆さまからのご支援ご協力を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

<ご寄付について> ※慶應義塾へのご寄付は税法上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。詳細は基金室 Web サイトをご覧ください。

【個人でお申し込みをいただく場合】

○一口1万円（できましたら三口以上）のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）

慶應義塾所定の「取扱票（兼申込書）」をお使いのうえ、最寄りの金融機関（銀行または郵便局）窓口からお振り込みください。

インターネット募金

慶應義塾基金室 Web サイト（<https://kikin.keio.ac.jp/ffkf/>）からお申し込みください。

【法人・団体でお申し込みをいただく場合】

○詳細につきましては、お手数ですが、慶應義塾基金室までお問合せください。

お問合せ先 慶應義塾基金室 電話：03-5427-1898 メール：kikin-box@adst.keio.ac.jp

